

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 6 年度						
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		遊休施設の稼働停止 照明器具のLED+人感センサー化						
温室効果ガスの吸収等	区 分	実施年度 (令和 6 年度)						
		二酸化炭素換算 (t)						
		<input type="checkbox"/>	森林の整備等					t-CO ₂
		<input type="checkbox"/>	経済的手法の活用					t-CO ₂
			グリーン電力証書の購入					t-CO ₂
			グリーン熱証書の購入					t-CO ₂
			オフセット・クレジットの購入					t-CO ₂
			国内クレジットの購入					t-CO ₂
		J-クレジットの購入					t-CO ₂	
		非化石証書の購入					t-CO ₂	
	合 計	①				t-CO ₂		
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (令和 4 年度)	目標年度 (令和 7 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 6 年度)	対基準 年度比 (%)		
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算 (t))② 9,741 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 9,440 t-CO ₂	96.9	(二酸化炭素換算 (t))③ 9,065 t-CO ₂	93.1		
	<input type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算 (t))② 9,741 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 9,440 t-CO ₂	96.9	(二酸化炭素換算 (t))③-① 9,065 t-CO ₂	93.1		
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B	0.269 t-CO ₂ /m ²	0.261 t-CO ₂ /m ²	97.0	0.218 t-CO ₂ /m ²	81.0		
	温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B	36159 m ² (補正延床面積)	36159 m ² (補正延床面積)	100.0	41600 m ² (補正延床面積)	115.0		
排出量等の 増減理由	温室効果ガス排出量は旧施設不要設備のユーティリティ停止により削減することができた。また、原単位分母の「温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 B」は労務数を含んでおり、労務数増加によりBの値が増加したことから、原単位排出量は大幅に減少した。							
特記事項	対象施設の一部に、一般財団法人阪大微生物病研究会が所有し、株式会社BIKENが使用している製造関連の施設を含む。							

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算 (t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。